

桃陵中だより

京都市立桃陵中学校 校長 浅井 晃
令和4年2月28日 3月号

学校教育目標

『自ら学ぶ 豊かな心をもつ
社会に貢献する 生徒を育む』

ありがとうプロジェクト 換気運動 本の貸し出し

生徒会本部の「ありがとうプロジェクト」の模造紙が、1年生・2年生・3年生、それぞれほぼ完成しました。期間後は学年の廊下で掲示したり、集会で紹介したりするなど活用していく予定です。一人一人のメッセージカードを読むと心が温まります。みなさんが、他学年の模造紙を見ている姿もとても印象的です。本当に“豊かな心をもつ”取組だと思えます。

保健体育委員会では、「感染症予防換気運動」を継続して取り組んでいます。感染症予防のポスターの掲示や、2時間目終了後と昼休みに換気を促す“アナウンスと音楽”が流れます。教室を換気することは、習慣になってきていますが、声にすること・音楽を流すことにより確認ができ、取組を“徹底すること”ができます。また換気だけではなく、他の感染症防止対策の確認にもなっていると思います。大変有効性のある取組だと思えます。学校司書さんを中心に図書委員会では、図書室の「本の配達（貸し出し）」をUber〇〇、クロネコ〇〇、出〇館のように、図書貸出リクエスト箱に学年組名前と借りたい本の名前を書いて入れておくと、その本が本人に届く、という取組を行っています。などなど、コロナ禍の中ですが、生徒会のみなさんの“工夫した”取組は、本当に素晴らしいと思います。



<3年生>

GIGA スクール構想の“今”

全校生徒にGIGA端末を配布して1年になります。欠席者へ向けての「授業配信」や学級閉鎖の生徒へ向けての「オンライン授業」などに文房具の1つとして活用できるようになってきました。また、ソフトウェアではMicrosoft365やロイロノートなどを授業で使うことが増えてきています。そして、デジタルドリル「ミライシード」を使って復習や演習をしています。一年前の目標に到達できていると考えています。これからも大切な道具として活用していきましょう。

卒業式に向けて

3月15日に実施予定の『卒業式』は、昨年同様に、本校体育館において、卒業生・生徒会本部・保護者・来賓2名（学校運営協議会会長、PTA会長）と教職員で、感染症防止対策を徹底して実施します。『卒業式』では、卒業証書は校長より1人ずつ壇上で手渡します。校長より「式辞」、来賓の紹介、在校生より「送辞」、卒業生より「答辞」などを予定しています。なお、京都市長と京都市教育委員会 教育長の方々からの「祝辞」は掲示いたします。

卒業生の合唱については現在検討中です。社会情勢の変化により合唱練習が可能な状況のときは、「国歌・校歌・卒業生の合唱」を実施します。合唱練習が難しいときは、「国歌・校歌」を静聴（起立して静かに聴きます）し、卒業生の合唱は控えます。「式次第」は例年とは異なりますが、卒業生を“心を込めて、あたたかく送り出したい”と思い、準備しています。

※裏面に「桃陵中学校 令和4年3月行事予定」を載せています。